



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ビケンテクノ

コード番号 9791 URL <http://www.bikentechno.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶山 龍誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 神月 義行

TEL 06-6380-2141

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	26,668	38.8	1,608	112.4	1,613	111.3	984	134.3
27年3月期第3四半期	19,211	△12.4	757	△34.2	763	△26.9	420	△19.7

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 987百万円 (116.5%) 27年3月期第3四半期 456百万円 (△13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	130.56	—
27年3月期第3四半期	55.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	28,902	13,459	46.6	1,784.18
27年3月期	29,419	12,622	42.9	1,673.24

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 13,459百万円 27年3月期 12,622百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
28年3月期	—	10.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	31,500	20.6	1,650	63.3	1,580	61.0	880	97.7	116.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	7,718,722 株	27年3月期	7,718,722 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	174,859 株	27年3月期	174,859 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	7,543,863 株	27年3月期3Q	7,543,863 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるビルメンテナンス業界を取り巻く環境は、人件費・原材料価格の高騰等が収益面に影響を与え、また人手不足も顕著化の度合いを増してまいりました。「品確法改正」や「地方自治法施行令の一部改正」も相まって、作業品質レベルへの注目も一層高まってきております。

このような状況下、ファシリティマネジメントの観点から総合的な営業・提案活動を強化しており、特に食の安全が食品製造会社の喫緊の課題となっている中、食品工場の生産ラインの衛生管理等を行うサニテーション業務の拡充等に注力しております。また、当連結会計年度よりスタートあるいは本格化した太陽光発電事業、ホテル運営事業、シンガポール現地法人によるエアコンメンテナンス業務、フランチャイズ事業の新店舗等も順調に推移しております。当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度末で業務が終了した契約の影響がありました。大口の不動産案件もあって前年同期と比較して売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は266億68百万円(前年同期比38.8%増)、経常利益は16億13百万円(前年同期比111.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億84百万円(前年同期比134.3%増)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

## ① ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス部門では、お客様のニーズを踏まえ省エネ・省コストに繋がる各種提案を進めております。作業品質を維持・向上させるための現場チェック・作業指導活動等も継続して実施しております。サニテーション部門では、お客様の工場の稼働状況に合わせた柔軟な対応や、作業品質、衛生管理等に高い評価をいただいております。新規現場や追加業務を受注しております。ビルメンテナンス事業全体では、前年同期と比較して売上高は増加いたしましたが、人件費の高騰等によりセグメント利益は減少いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は160億90百万円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は15億72百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

## ② 不動産事業

不動産事業では、不動産の売買、仲介及び保有している不動産の賃貸等を行っております。当第3四半期連結累計期間においては大口の不動産案件があり、収益を伸ばすことができました。更に、今後に向けての不動産事業も案件を十分に検討しながら進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は75億74百万円(前年同期は4億24百万円)、セグメント利益は11億18百万円(前年同期比618.7%増)となりました。

## ③ 介護事業

介護事業では、介護施設の運営や介護サービスの提供を行っております。当社グループでは、メルシー緑が丘(大阪府豊中市)、メルシーますみ(大阪府池田市)、かおりの里(滋賀県大津市)、メルシー東戸塚(横浜市戸塚区)を運営しており、入居者様・ご家族様の立場に立った高いレベルのサービスを提供しております。しかしながら、入居稼働率が改善の途上であることや介護スタッフの人件費の上昇等により、前年同期と比較して売上高が減少し、セグメント利益も前年同期同様損失計上となりました。当第3四半期連結会計期間末には介護施設の入居予定者も増えてきており、今後への活動を強化しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8億37百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント損失は47百万円(前年同期は35百万円のセグメント損失)となりました。

## ④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業では、ツタヤ、プロント、ミスタードーナツ、サルヴァトーレ・クオモ、やきとり家すみれの店舗展開を行っております。一部苦戦している店舗もある影響で、前年同期と比較して売上高及びセグメント利益が減少いたしました。一方で、7月にサルヴァトーレ・クオモ千里中央店、12月にやきとり家すみれ福島店をオープンしており、業態別に戦略を見直ししながら新たな展開への取り組みを図っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19億93百万円(前年同期比1.9%減)、セグメント利益は44百万円(前年同期比29.1%減)となりました。

## ⑤ その他事業

その他事業では、茨城県潮来市でスタートした太陽光発電事業や、沖縄県那覇市でのホテル運営事業が売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億72百万円(前年同期比643.3%増)、セグメント利益は44百万円(前年同期は0百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は166億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億9百万円の減少となりました。これは主に販売用不動産が22億54百万円減少し、現金及び預金が16億9百万円増加したことによるものであります。固定資産は122億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億91百万円増加いたしました。

この結果、総資産は289億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億17百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は100億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億24百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が3億89百万円増加し、一年以内返済予定の長期借入金が3億2百万円、短期借入金が2億10百万円、その他が3億58百万円減少したことによるものであります。固定負債は53億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億29百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が7億62百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は154億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億54百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は134億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億36百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益9億84百万円及び剰余金の配当1億50百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.6%（前連結会計年度末は42.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,878,815	6,488,411
受取手形及び売掛金	2,709,342	2,617,881
商品及び製品	154,594	155,205
販売用不動産	7,317,008	5,062,929
未成工事支出金	8,654	79,841
原材料及び貯蔵品	37,782	39,590
その他	3,862,888	3,523,302
貸倒引当金	△1,263,846	△1,271,158
流動資産合計	17,705,240	16,696,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,170,143	3,640,428
土地	5,416,804	5,584,061
その他(純額)	440,926	672,944
有形固定資産合計	9,027,874	9,897,434
無形固定資産		
のれん	27,257	295,038
その他	196,186	218,661
無形固定資産合計	223,444	513,699
投資その他の資産		
その他	2,556,268	1,887,855
貸倒引当金	△93,061	△92,779
投資その他の資産合計	2,463,207	1,795,075
固定資産合計	11,714,526	12,206,209
資産合計	29,419,766	28,902,213

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,396,653	1,523,057
短期借入金	3,300,000	3,090,000
1年内償還予定の社債	30,000	-
1年内返済予定の長期借入金	2,620,312	2,317,771
未払法人税等	182,327	572,278
賞与引当金	232,240	92,519
その他	2,810,906	2,452,068
流動負債合計	10,572,439	10,047,694
固定負債		
長期借入金	4,569,956	3,807,099
役員退職慰労引当金	231,797	232,383
退職給付に係る負債	108,202	272,129
その他	1,314,699	1,083,319
固定負債合計	6,224,655	5,394,931
負債合計	16,797,094	15,442,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,808,800	1,808,800
資本剰余金	1,852,220	1,852,220
利益剰余金	8,772,797	9,606,814
自己株式	△78,463	△78,463
株主資本合計	12,355,354	13,189,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134,284	162,016
為替換算調整勘定	7,645	△27,482
退職給付に係る調整累計額	125,385	135,681
その他の包括利益累計額合計	267,316	270,215
純資産合計	12,622,671	13,459,587
負債純資産合計	29,419,766	28,902,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	19,211,919	26,668,779
売上原価	15,256,831	21,485,110
売上総利益	3,955,088	5,183,669
販売費及び一般管理費	3,197,848	3,575,059
営業利益	757,239	1,608,609
営業外収益		
受取利息	29,428	34,838
受取配当金	5,403	6,211
持分法による投資利益	10,252	5,699
匿名組合投資利益	24,190	-
その他	62,126	59,136
営業外収益合計	131,401	105,885
営業外費用		
支払利息	53,653	63,244
支払手数料	25,525	21,121
貸倒引当金繰入額	41,054	10,988
その他	4,969	6,063
営業外費用合計	125,202	101,417
経常利益	763,438	1,613,078
特別利益		
固定資産売却益	-	3,956
投資有価証券売却益	358	6,866
その他	-	1,306
特別利益合計	358	12,128
特別損失		
固定資産除却損	400	1,839
投資有価証券評価損	999	-
和解金	-	10,200
特別損失合計	1,399	12,039
税金等調整前四半期純利益	762,397	1,613,167
法人税、住民税及び事業税	245,669	711,332
法人税等調整額	96,390	△83,101
法人税等合計	342,059	628,230
四半期純利益	420,338	984,936
親会社株主に帰属する四半期純利益	420,338	984,936



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	420,338	984,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,000	27,731
為替換算調整勘定	△13,428	△35,127
退職給付に係る調整額	3,351	10,295
その他の包括利益合計	35,923	2,899
四半期包括利益	456,261	987,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	456,261	987,835
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。